

問24 「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度

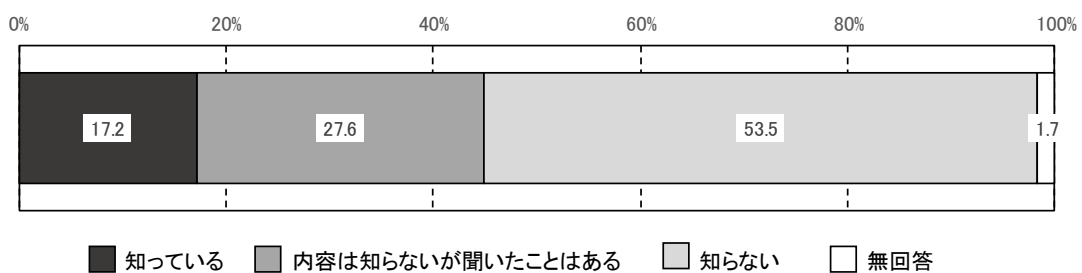
問24 岐阜県では、県民の皆様に「清流の国ぎふ森林・環境税※」を負担していただき、豊かな森づくりや清流の保全に取り組んでいます。

あなたは、この「清流の国ぎふ森林・環境税」を知っていますか。（1つだけ）

全体（図24-1）でみると、「知らない」が53.5%と最も高く、次いで「内容は知らないが聞いたことはある」（27.6%）、「知っている」（17.2%）の順となっている。

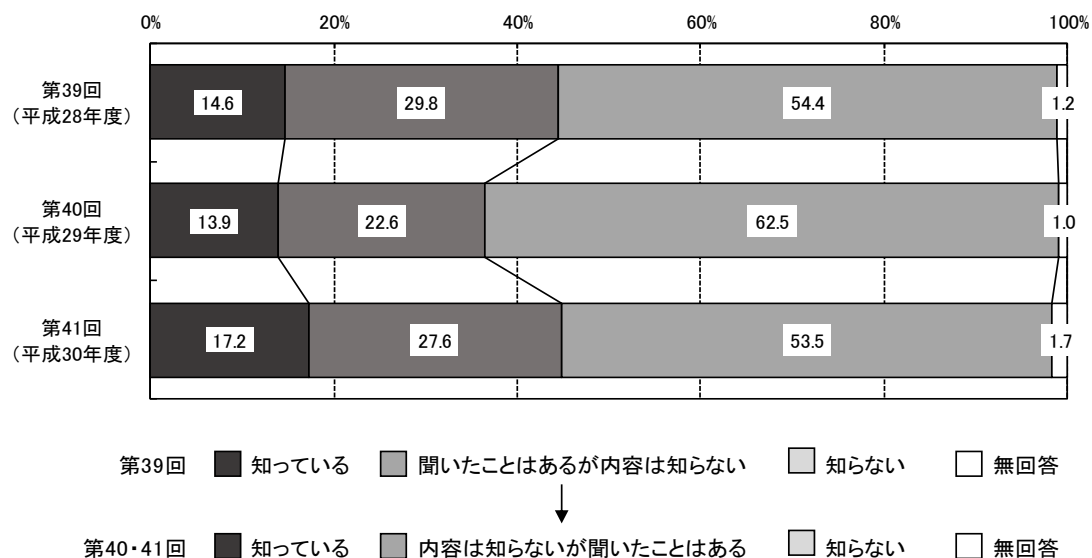
図24-1 「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度

回答者数(n = 1,436)



前々回・前回比較（図24-2）でみると、「知っている」が前回と比べて3.3ポイント、「内容は知らないが聞いたことはある」が前回と比べて5ポイント、それぞれ増加している。「知らない」では前回と比べて9ポイント減少している。

図24-2 【前々回・前回比較】「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度

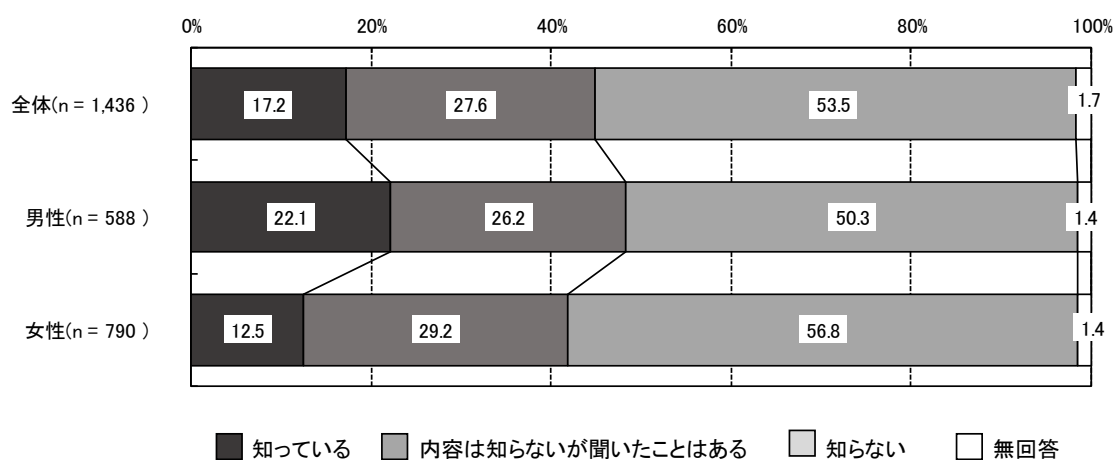


※ 清流の国ぎふ森林・環境税: 自然環境の保全・再生を県民全体で支える取組みを進めるため、平成24年度から導入している。個人は年額1,000円を個人県民税に上乗せして、法人は均等割額の10%相当額を法人県民税の申告納付の際に併せて県に納めていただくもの。

※ 第40回調査で選択肢を変えているため、第39回の「聞いたことはあるが内容は知らない」は第40回の「内容は知らないが聞いたことはある」と比較している。

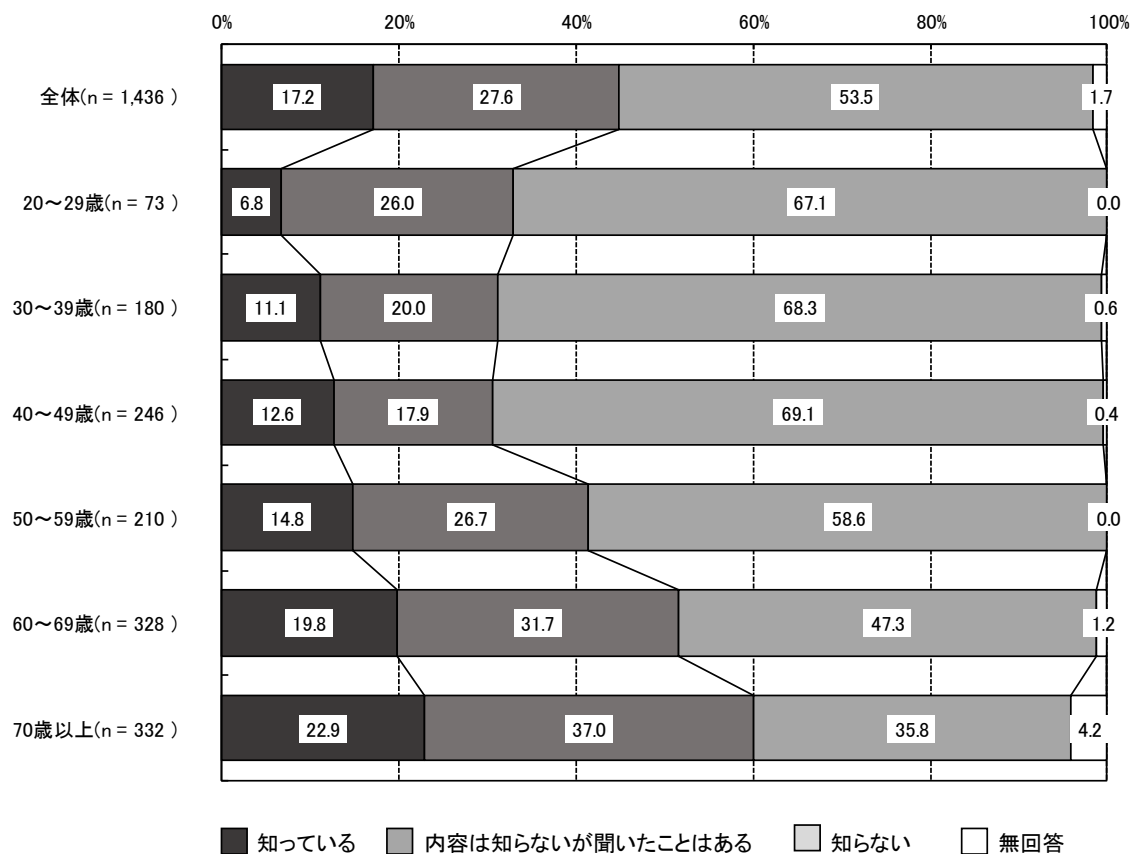
性別（図 24-3）でみると、「知っている」は男性が 22.1%、女性が 12.5%と、男性が女性より 9.6 ポイント高くなっている。

図 24-3 【性別】「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度



年代別（図 24-4）でみると、70 歳以上を除くいずれの年代においても「知らない」が最も高く、そのうち 40 歳代が 69.1%と最も高くなっている。70 歳以上では「内容は知らないが聞いたことはある」が 37.0%と最も高くなっている。

図 24-4 【年代別】「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度



居住圏域別（図 24-5）でみると、いずれの居住圏域においても「知らない」が最も高く、そのうち西濃圏域が 60.3%と最も高くなっている。「知っている」では、中濃圏域が 23.0%と、他の居住圏域と比較して高くなっている。

図 24-5 【居住圏域別】「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度

